

令和6年度 第4回 新井小学校 学校運営協議会 記録

日時： 令和6年12月5日（木） 13時30分

場所： 新井小学校 会議室（相談室）

1. あいさつ （市川市立新井小学校校長 吉野 貴子）

- ・ 10/4に『あゆみ』を渡し、10/7より後期が始まった。各学年の校外学習、陸上大会、音楽集会や音楽発表会、新井っ子秋祭りなど、大きな行事が連続した。その他の取り組みも紹介したい。
- ・ 3年生 加藤のり店によるのりの授業。生のりをもらい、コンロであぶる体験ができた。その場で1枚パリパリと食べることもできて、「おいしかった！」の感想。とても楽しそうだった。
- ・ 秋の読書フェスティバル。全校でおすすめの本カードの作成。告知やおすすめの本紹介で図書委員会の子もしっかりと活動していた。読書郵便を通じてペア学年同士の交流もできた。
- ・ 3年生 プログラミング講座。まずはタブレット抜きで自動販売機を例にしたプログラミングの仕組みを体験した後、実際にタブレットを使うという学習だった。
- ・ 2年生 町探検。地域の方にもご協力いただいた。皆張り切っていた。
- ・ ロング昼休みを使ったなかよしクイズラリー。ペア学年で校内を回り、各所にあるクイズに楽しそうにチャレンジする様子が見られた。
- ・ 1年生 延命寺学園や、いくつかの幼稚園・保育園の子たちとの交流会。1年生からの歌のプレゼントや、校舎内の案内、授業参観などを通じて、幼稚園・保育園の子たちに新井小のことをいっぱい知ってもらうことができた。
- ・ 5年生 助産師による授業。思春期の心と体の勉強をした。子どもたちは熱心に助産師さんの話を聞き、たくさん質問をしていた。
- ・ 1年生 ふれあい交流会。こまやめんこなど、昔の遊びを地域の方々に教わることもできた。初めて体験した子もあり、貴重な経験となった。その後、教えていただいた地域の方々と一緒に給食を食べることもできた。

2－1. 協議「教職員の任用について」

- ・ 教職員の任用に関する説明（学校地域連携推進課より）
学校運営の基本方針を実現するための任用
新井小の課題を踏まえての任用。
「以前にいた〇〇先生がいい」との要望は多いが、そういった内容に応えることは難しい。

（吉野校長）

- ・ 来年度は、今年度のグランドデザインを大きく変えるのではなく、現状達成できていない部分を達成すべく取り組んでいきたい。

- ・ 目指す児童像の中にある、「豊かな心」については、落ち着いた学級経営の中で一定の成果が出ているのではないかと。一方、「確かな学力」に関して、学習意欲は改善傾向にあるが、1人1人がわかった・できたと感じられる授業にはまだ課題がある。今年度は読書教育をより強く推進できているが、タブレットを日々活用できているかという点については、十分ではない。
- ・ 職員の実態。50名いる。担任は25名。それ以外にも専科教員や非常勤の職員。
- ・ 年齢構成としては、割とベテランが多い。直接子どもと関わっている職員は、比較的若い職員である。年齢構成は以前よりバランスが取れている。
- ・ 新井小が目指す教職員像は、①指導力・向上力のある教職員、②学び続ける教職員・自らの得意を持つ教職員、③使命感・責任感を持つ教職員。

（委員の方々）

Q. 実際に子どもと関わっている職員は男性9人・女性20人で、女性の方が多いが、何か意図があるのか？

A. 小学校は女性の教職員が多いため、どうしても女性の比率が多くなる。男女比としては昨年度と大きくは変わってはいない。

Q. 保護者は直接に学校に言いづらいという部分がある。遠慮しているというか、引け目を感じている部分がある。子どもたちに寄り添い、丁寧に対応するのはとても大事なことだが、その辺りを汲み取ってくれる教職員、学校体制だとありがたい。「保護者にも寄り添う」ことができるといい。

A. とても大切なことだと思う。

- ・ 「令和6年度 教職員の任用に関する意見書」より、「1. 心身ともに健康で職務を推進できる教職員」は今回も残す。
- ・ 先生は地域の方と関わってこそ。子どもは地域で育っている。管理職の先生は顔を出してくれるが…。お祭りなどの行事で、吹奏楽部や顧問の先生とは交流がある。他校の子どもたちも来るので、横のつながりも広がるのではないかと。
- ・ 「2. 地域のことを知り、地域の行事等の動きにアンテナを高く持つことのできる教職員」も残す。
- ・ 「3. 管理職と若年層教職員を結ぶ、主任としてリードしていける教職員」も残す。

- ・ （吉野校長）学校としてはチームで対応するようにしている。担任や学年だけに任せているのではない。管理職や教育相談コーディネーター、養護教諭なども交え、できるだけ多くの職員で役割分担をしている。

↓

「4. チーム新井の一員として、子供と保護者に寄り添える教職員の任用」を加える。

2－2．協議「地域学校協働活動の推進について」

(稗田教頭)

- ・ 11/16 新井っ子秋祭り 多くのブースを作ってもらい、子どもたちと交流することができた。
- ・ 11/21 延命寺学園交流 延命寺学園の他にも、近隣のいくつかの保育園・幼稚園の子たちと交流ができた。授業参観だけでなく、校舎案内や歌のプレゼントなど、初の試みも行うことができた。後日、
- ・ 11/26 ふれあい交流会 地域の方々から7つの昔遊びを教えていただき、1年生の子たちには貴重な経験となった。
- ・ 地域学校協働活動推進員である新居さん・奥ノ矢さんには、新井小独自の学校・地域カレンダーを作成していただいた。

(地域学校協働活動推進員 新居)

- ・ 学校から依頼のあった推進員の活動として、1年生公園探検(5名参加)、2年生町探検(2名参加)、1年生アサガオ・リース作り(5名参加)の手伝いを行った。
- ・ 新井っ子秋祭りの「ボッチャ体験」では、先生方やスポーツ推進委員さんにご協力いただいた。
- ・ 学校・地域カレンダーを教職員とも共有できるようにしたい。

3 報告及び意見

- ・ 広尾自治会 12/23～28 パトロール 子どもたちも今回から参加できる。1時間くらい。
- ・ 12/8 クリーン作戦(清掃活動) その時に青空市場(広尾公園で)